

「最もかわりが難しい人」と言われていた受刑者との、2年弱にわたる当事者研究の記録。「シリーズケアをひらく」最新刊『刑務所で当事者研究をやってみた 対話実践とチーム処遇が扉をひらく』3月9日刊行

シリーズケアをひらく

対話実践とチーム処遇が扉をひらく

刑務所で

当事者研究をやってみた

向谷地生良
村上靖彦 編著

医学書院

ホワイトボード

村上 Aさん 刑務官Xさん 向谷地

当事者研究のパワーが炸裂!!

出所

犯罪

刑務所

このループを止めるには?

刑務所職員のあいだで「最もかわりが難しい人」と言われていた“累犯障害者”Aさん。本書は、彼とおこなった2年弱にわたる当事者研究の記録である。

書影：シリーズ ケアをひらく最新刊『刑務所で当事者研究をやってみた 対話実践とチーム処遇が扉をひらく』

株式会社医学書院(所在地：東京都文京区、代表取締役社長：金原 俊)は、『シリーズケアをひらく』最新刊『刑務所で当事者研究をやってみた 対話実践とチーム処遇が扉をひらく』（編著：向谷地生良、村上靖彦）を2026年3月9日に刊行しました。

「出所→犯罪→刑務所→…」 際限なきこのループは変わるのか？

「シャバより刑務所のほうがマシ」と彼らは言った。

他者に頼ることを知らないその人たちを「犯罪者」として裁き、社会との関係を断ち、他者との関係を断ち、孤立を基本とする環境に置いて更生させようとする。

そんな建前上のセレモニーを終わらせるための手がかりを彼らから学び、社会実装するための本。

本書の目次

I なぜ刑務所で当事者研究？

第1章 向谷地生良さんインタビュー

「受刑者Aさんにとって当事者研究はどういう体験だったのだろうか」

第2章 刑務所での当事者研究がどうして始まったか

II 受刑者Aさんの当事者研究

第3章 Aさんの人生歴

第4章 受刑者Aさんの語り

III 刑務官・支援者はどう変わったか

第5章 刑務官Xさんの語り

第6章 出所後も「応援ミーティング」でかかわり続ける

書誌情報

シリーズ名	シリーズ ケアをひらく
書名	刑務所で当事者研究をやってみた 対話実践とチーム処遇が扉をひらく
編著	向谷地 生良 / 村上 靖彦

発行月	2026年3月
判型	A5
頁数	216
定価	2,200円（本体2,000円+税10%）
ISBN	978-4-260-06565-8
発行元	医学書院

詳細・本文サンプル

<https://www.igaku-shoin.co.jp/book/detail/118634>

「シリーズケアをひらく」について

「科学性」「専門性」「主体性」といったことばだけでは語りきれない地点から<<ケア>>の世界を探ります。

- ・第73回毎日出版文化賞<企画部門>受賞
- ・シリーズ既刊はこちら

<https://www.igaku-shoin.co.jp/series/28>

書籍詳細とサンプルページは下記弊社公式ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.igaku-shoin.co.jp/book/detail/118634>

本件に関するお問い合わせ先

弊社ウェブサイトのお問い合わせフォームをご利用ください

<https://www.igaku-shoin.co.jp/inquiry/books>

株式会社医学書院について

1944年の創業以来、「専門書出版社としての役割と責任を自覚し、医学・医療の進歩に必要な専門情報を的確に伝え、医学・医療の発展と社会の福祉に貢献すること」を使命として、常に最新の医学・医療情報を提供しています。

治療年鑑『今日の治療指針』、看護学生向け教科書シリーズ『系統看護学講座』など幅広い領域の専門書籍・雑誌を出版しており、毎年百数十点におよぶ書籍を刊行しています。近年では、Web配信サービス、電子書籍、電子雑誌、セミナー、オウンドメディアなど様々な形でのコンテンツ作成に取り組み、多くの医療専門職、学生の方々からご支持をいただいております。

■会社概要

会社名 株式会社 医学書院
創立 1944年
代表者 代表取締役社長 金原 俊
所在地 東京都文京区本郷1-28-23
事業内容 医学・看護および関連領域の専門書籍・雑誌・電子媒体の出版
URL <https://www.igaku-shoin.co.jp/>

株式会社医学書院のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/14570

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社医学書院

<https://www.igaku-shoin.co.jp/inquiry/books>